

まちづくり・
コミュニティ

町会・自治会

防犯・防災・
みまもり

こども

教育

シニアライフ

健康

スポーツ

芸術・文化・
趣味

環境

ふくしと
サポートNPO・
ボランティア

国際交流

男女共同参画

農業・商工業

[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > **柳窪の春を探しに**

光の春がまぶしいばかりの日が続きます。
3月2日（日）、柳窪雛祭り見学会が催されました。旧家のお雛様を巡り歩くという趣向です。最後にお汁粉を頂くことができます。

この日は、午後からボランティアとして列の最後尾を歩きました。先頭はベテランさんが案内をして、柳窪の歴史や経済活動のこなどエピソードを語ります。



13時出発は、人数が多く2班に分かれての行動となりました。親子づれ、孫連れ、友人同士などの様々な組み合わせで、皆さん楽しそうです。この回は後半に付きました。



最初の訪問は、野崎一郎氏宅です。新山通りから門までのアプローチが素晴らしいです。

桃はまだ堅いつぼみ、少し歩むと白梅がひっそりと咲いています。かなりの本数ですが大きな榎の巨樹の影では、可憐にかわゆく見えてしまいます。榎並木に添って進むと、竹林があり、さらさら音を立てて歓迎してくれます。小鳥の音が響いてきますと、左手に明るい梅林が開け、紅梅の濃いことや薄紅がアクセントとなり、白梅が陽を浴びています。

1本の三桮（みつまた）が花をこれから開こうか思案顔です。

門に到着です。

樹齢400年とも言われる榎がどんと屹立し、その横の紅梅がかわゆく見えること。柳窪の特徴は作業用の広い庭を抱して北側に母屋、西に白壁の倉、東に作業小屋や味噌、薪小屋が配置されています。武家屋敷、町人文化の作庭の小賢しさがなく木々はのびのびとしています。野崎氏は、質実剛健なんですよとおっしゃいます。娘、孫娘さんの内裏雛を拝見。

桜草が綻びそうになっています。



生け垣に添って行くと、正面に薄紅色の梅が懸がいのように待ち受けています。一步一步進むときの気持ちの良さは、桃源郷いえいえこれは梅林郷。

野崎美術館、橋端村野家の紅梅を眺め、天神前村野家の新屋である村野家で雛の鑑賞。福寿草が黄色の花芽を開きかけています。御当主が建材や、ガラス彫刻の欄間や玄関の飾り戸の説明をされます。



裏口から柳窪樹林地を抜けて奥住和夫氏宅へ向かいます。今時珍しい土と落ち葉の小道です。藪椿、アオキ、笹が黒目川沿いに見れます。

最後の家に付きます。雛壇の真ん前の紅梅が麗しい香りと色で迎えてくれます。

参加者一同で、“ひなまつり”の歌を唱い、お汁粉を頂きます。この日の参加者は120名でした。

皆さんどんな春を探したでしょうか？

(都 若菜)

